

富貴地区に分館を設置するなど

図書館機能の強化を

梶田稔議員は、3月10日、図書館機能の抜本的強化などについて一般質問を行い、町当局の見解をいただきました。

今年国民読書年。水上図書館として、注目のうちに建設された町立図書館の機能を、

学校図書館との連携など抜本的に強化するための具体策を求めたい。

町立図書館とのネットワーク構築を

梶田稔議員質問 町立図書館と学校図書館、児童館などのネットワークを構築し、どこからでも検索・予約ができる体制を整備されたい。



一般質問を行う梶田稔議員（3月10日）質問及び答弁の全文、意見書など議会審議の様子は、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.kajita-m.jp>

司書6人が担当
答弁 ネットワーク化に

また、司書を増員・配置し、来館者のニーズに応える体制を拡充されたい。

については、平成24年にシステム全体を見直すことになっているので、その際、検討したい。

司書は、正職員5人中1人、臨時職員14人中5人で計6人が資格を持っている。

今後、公的資格取得を奨励する要綱もあるので、受験するよう勧めたい。

富貴地区に分館を

梶田稔議員質問 JA富貴支店の跡地を取得して、南部子育て支援センターを設置することになりました。

この機会に、町南部の行政サービスの拠点として位置付け、図書館分館の設置や富貴支所の統合・機能強化など、総合的な施設として検討すべきではないか。

今後の研究課題

答弁 22年度では、子育て支援センター設置のための設計委託料を計上した。また、倉庫は防災倉庫として活用する。

総合的な拠点としての整備については、今後の研究課題としたい。

学校図書館の拡充を

梶田稔議員質問 文部科学省は、学校図書館が備えるべき蔵書の標準を定めています。町内小中学校の充足率は0.91で、知多5市5町の中で最低となっています。



学校図書館の果たすべき役割の重要性からみて、もっと拡充すべきではないか。

今後は改善したい

答弁 スクールアシスタントの配置など、他の施策との関連もみてほしい。耐震化に力を入れている現状もあり、蔵書の拡充については、今後改善したい。

外出困難者に貸本の宅配を

梶田稔議員質問 知多市や東浦町では、障害者手帳2級以上、65歳以上の独居老人などで外出が困難な人に、申請に基づいて貸本の宅配を実施している。ぜひ、本町でも実施されたい。

実施市町に問い合わせたい

答弁 どのような基準で実施しているのか、実施している市町に問い合わせてみたい。